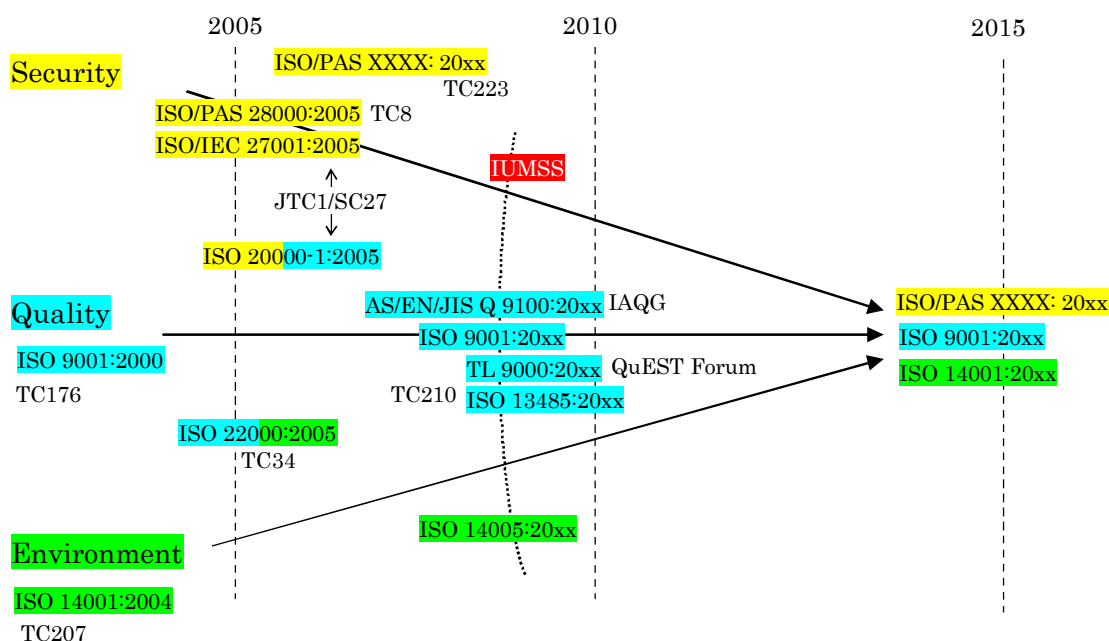


マネジメントシステム認証規格開発の変遷と動向

1987年3月に最初のISO 9000ファミリー規格が発行されて以来、企業のMSの中核となるMS規格としてQMS(ISO 9001)、EMS(ISO 14001)、ISMS (ISO/IEC 27001)などが発行又は改訂されてきました。

また、QMSセクター規格である航空宇宙(AS/EN/JIS Q 9100)、医療機器(ISO 13485)、電気通信(TL9000)などや、新たなMS規格となるITSMS(ISO 20000)、FSMS(ISO 22000)、SCSMS(ISO 28000)、GHG(ISO 14064)など、ISO又は非ISOのMS規格が次々に発行又は改訂されており、ますます広範多岐化、セクター化の傾向が見られます。



ISO 20000-1 : Information technology – Service management - Part 1: Specification
 ISO 22000 : Food management system - Requirements for any organization in the food chain
 ISO/PAS 28000 : Specification for security management systems for the supply chain
 ISO/PAS XXXX : Societal security - Guidance for incident preparedness and operational continuity management

図 1-1 MS 認証規格開発の変遷と動向

一方、ISO事務局では、各種MS規格の両立性、整合性向上という規格開発方針により、次の例に見られる数々の施策を実施しております。

- a) ISO/TC176 N299「Proposed ISO/IEC Policy for the Development of Sector Documents Related to ISO 9000」の中でQMSセクター規格の開発においてはISO 9001への両立性、整合性を要求
- b) ISO 9001及びISO 14001の次期同時改訂により、両規格の更なる両立性
- c) ISMS(ISO/IEC27001)、SCSMS(ISO/PAS28000)などの部門セキュリティをセキュリティマネジメントシステムとして一体化するための枠組みとしてのISO/PAS XXXX “Societal security – Guidance for incident preparedness and operation

continuity management ” の発行

- d) 各種 MSS(マネジメントシステム規格)を同一企業で統合して活用(構築・運用)するための IUMSS “ Integrated use of management system standards ” に関するハンドブックの発行

注：IUMSS は、広範多岐化した MS 規格の活用方法を定めたもので、統合 MS 規格に関するものでない。

ISO の MS 規格は、質(Quality)、環境(Environment)、セキュリティ(Security)などの側面からの MS 要求事項を定めておりますが、個別の MS の確立を求めている訳ではなく、前述の ISO の MS 規格開発方針に見られるように、むしろ他の MS との両立制、整合性を追求しております。

例えば、ISMS の要求事項を規定した ISO/IEC27001 では、1.2 適用の注記で「組織が業務プロセスについての MS (例えば、ISO9001 又は ISO14001 に関連したものを既に運用しているならば、多くの場合、その既存システムの中でこの規格の要求事項を満たすことが好ましい。」として一つの MS を推奨しております。